

学校名 ときがわ町立都幾川中学校
所在地 比企郡ときがわ町大字桃木50番地
電話 0493-65-0155

1 本校の概要

全校生徒107名、6学級のときがわ町立都幾川中学校は、校訓「叡智」、学校教育目標「進んで学びあう生徒 思いやりのある生徒 たくましい生徒」とし、「生徒が学んでよかった 保護者が通わせてよかった 教職員が勤めてよかったと思える学校」を目指して日々教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

小規模校である利点を生かし、全校生徒が読書に親しむ態度や読書習慣を身に付けるために、次のような様々な教育活動に取り組んでいる。

ア 朝読書の推進

全校で朝の会の前に朝読書を行っている。「静の活動」から学校生活の一日が始まる。落ち着いた学校生活をスタートすることができている。

イ 談話室の活用

給食室として使用していた場所を談話室として利用している。机や椅子があり、卒業生や地域の方から寄贈された本を並べている。生徒は、休み時間等を利用して読書をしている。

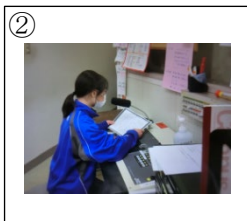
ウ 図書だよりの発行

図書委員会で新聞を月1回「図書だよりの発行」として発行している。先生からの本の紹介や学校図書館に入った新しい本の紹介をして、読書に親しめるように記事をつくっている。(①)



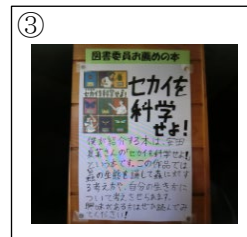
エ 朗読放送

朝読書の時間を利用し、図書委員会主催で朗読放送をしている。図書委員が各自で選んだ本を紹介している。(②)



オ オススメの本の紹介

各自のオススメの本を紹介するポスターを委員会で作成し、廊下の目を引く場所に掲示している。(③)



また、学校図書館の入口には、定期的にオススメの本や新しい本の紹介をしている。

教科で紹介した本を談話室や廊下に置いたりして、生徒の興味や関心を高めている。国語(④)や理科(⑤)の学習に関連した本など、生徒が手にとって見やすいようにしている。各学級内にも学級文庫として本を置いている。



カ 読書記録カードの利用

各自が読んだ本についてカードに記録している。継続して本を読むことの意識付けにつながっている。

キ 読書の表彰

本をたくさん読んだ生徒を図書委員会で表彰している。3学期に委員長から賞状を手渡している。

ク 地域の方からの本の寄贈

ときがわ町内の小中学校に地域の方から本を寄贈していただいている。本校では「Newton」という科学雑誌をお願いし、談話室に置いている。生徒がいただいた本のお礼の手紙を書き、代表生徒が寄贈した方のところに伺って、手紙を渡している。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 朝読書だけでなく休み時間等にも本を読む生徒が増えてきた。

(2) 課題

- ・ 学校図書館利用者が限られているので学校図書館を活用したイベントなどを工夫していきたい。また、地域や保護者、様々な機関との連携を図っていきたい。

(3) おわりに

生徒の行動目標として、都幾中プライドがあり、その中の一つに「読書」がある。自ら進んで読書をし、本を好きな生徒を今後も増やしていきたい。